

富士市立中央病院 病院だより

第 6 号

発行:平成21年10月20日

〒417-8567 富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

Fuji City General Hospital

富士市立中央病院の診療体制へのご理解を!



富士市立中央病院は、現在まで、診療をご希望になる市民の皆さまには、何の制限もなく診察する(これをフリーアクセスとよびます)姿勢で診療を続けてまいりました。昨年、産婦人科医が不在となる危機がありましたが、富士市全体を挙げての努力により、現在は、産婦人科医5名の体制で活発に診療を行っております。しかし、中央病院が現在の地に移転以降、最大医師数83名から今年度の医師数70名と13名の減少となっています。これに伴い、医師の時間外勤務が大きく増加してきています。この状態が続きますと、過重労働のため“医師が逃げ出す事態を生ずる危険”が迫っています。

今後も、富士市立中央病院は急性期病院として、救急医療及び入院医療を中心に診療をしてまいりたいと考えておりますので、昨年の産婦人科のような、診療科の撤退を招く

ことはできません。そこで、

- 1.最初の診療は最寄りの開業医の先生に受診(“かかりつけ医”のすすめ)。
- 2.必要があれば開業医の先生から当院へ紹介。
- 3.当院の診療が一段落した際は、元の“かかりつけ医”の先生に診療を依頼。

といった、**開業医と病院診療の機能分担**にご理解とご協力をお願いいたします。

医師の数が減少している診療科では、初めて当院を受診される皆さまに、最寄りの開業医の先生の診察をされた後、病状に応じ、紹介状を持って受診をしていただくなどの**診療の制限**をしなくてはならなくなっています。今後とも出来る限り“医師確保”に努めてまいりますので、市民の皆さまには、富士市立中央病院の現状をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成21年9月
病院長 山田治男

救急外来からのお願い

当院の救急外来は富士市救急医療の2次、3次救急を担っています。主に紹介患者さまや重症患者さまを中心に診療しています。

日中はまず、かかりつけ医へ、夜間は1次の救急医療センターへの受診をお願いしています。時間外で救急受診をご希望の方はまず電話で相談をください。その際、以下の内容を確認させていただいています。

※当院の診察券をお持ちの方は、

名前・診察券番号・いつも受診している診療科・現在の症状 など

※初めて受診を希望する方は、

名前・生年月日・現在の症状 など

電話でお聞きした内容から医師の判断により、受診についてお返事していますので、直接の来院はご遠慮下さい。特に重症度優先で診療させていただいておりますので、診療まで長時間お待ちさせる場合や診療の中断を余儀なくされることが考えられます。

ご理解とご協力をお願いします。



- 平日の日中(土曜日の午前)..... **かかりつけの診療所や病院**
- 平日の19時~翌8時
土曜日の14時~翌8時
日曜・祝日の9時~翌8時
年末年始(12/29)の14時~翌8時
年末年始(12/30~1/3)の9時~翌8時
- **救急医療センター**
- 重症患者さま **当院**
紹介患者さま



診療制限に ついての お願い

現在、全国的に医師が不足しており、深刻な社会問題となっています。当院も医師の確保に最大限努めてまいりましたが、一部診療科の医師不足は避けられず、外来・入院・救急業務を従来通りに行うことはできない状況となっております。

富士市の中核病院である当院の性格上、救急医療の対応、入院治療を必要とする重症患者さまの対応を制限することは不可能ですので、やむを得ず外来診療を制限させていただいております。

下記診療科において「完全紹介制・完全予約制」とっております。また、予約外受付時間を短縮している診療科もあります。詳しくは次ページの診療日程表をご確認下さい。市民の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

※完全紹介制・完全予約制対象診療科 整形外科、神経内科、産婦人科(婦人科系のみ)

【初診について】

まず近隣の医療機関を受診していただき、その先生が専門的な検査や入院治療を要すると判断された患者さまは、紹介状を持参の上、当院を受診していただくことになります。紹介状をお持ちでない患者さまは、診療をお断りし、他院への受診をお願いしております。

【再診について】

現在治療中の患者さまの再診は、全て予約制となります。

予約されていない患者さまは、原則として受診をお断りしますが、治療上緊急を要する場合のみ診察させていただきます。

また経過が良好な患者さま、経過観察のみの患者さまは紹介状をお渡しし、地域・近隣の診療所に受診をお勧めする事もあります。

地域連携室の紹介

【より良い地域医療の連携と医療福祉相談をめざしています】



当院の地域連携室では、事務職員4名と医療ソーシャルワーカー3名の計7名が、健康診断や脳ドックの受付、医師派遣業務などを行っております。

また、医療機関から届く患者さまの紹介受付、MRIなど高度医療機器の撮影予約の受付や、診察の予約票及び紹介状に関する報告の発送管理なども協力して行っております。

病気になると、健康な時には無かったような心配事が色々起こってきます。

退院後の生活の準備・家庭や職場の心配・病気への不安・医療費などの心配・転院先を探したいなど、病院にはそのような患者さまやご家族さまなどからの相談に応ずる業務も必要となり、それらも地域連携室で行っております。(平成20年度では41,394件の相談に対応)

医療機関から届くFAXの向こう側には、予約依頼の返事を待つ患者さまがいらっしゃいます。また、悩み事がある患者さまには、それまでのご苦労もある



と思います。

患者さまが、少しでも気持ちが軽くなって医療機関をあとにさせていただくことができればと考えて、毎日、取り組んでおります。

地域連携室 内線2917

富士市立中央病院診療目程表

2009年10月1日現在

診療科《部長名》		月	火	水	木	金	備 考
内 科 (代謝一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (消化器内科) (腎臓内科)《笠井健司》	初診	田中	町田	山城	宮下	池田	市田医師の診察は、第1と第3週の午後のみです。 平野医師の診察は、第2と第4と第5週の午後のみです。
		藤井	宮下	山田	藤井	谷口	
		谷口		谷口	谷口	山城	
		木村	木村	木村	木村		
			馬場	(市田・平野)			
神経内科《森田昌代》		笠井	笠井	宇田川	宇田川	笠井	《初診は完全紹介状制です。火曜日は休診日です。》 《2010年1月より体制が変わります。》
循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	小菅	(交替制) 10時まで		阪本	吉野 武本	金曜日の吉野医師の診察は、偶数週です。 金曜日の武本医師の診察は、奇数週です。 《火曜日の初診受付は、午前10時までです。》
		阪本	三川	三川	三川	三川	
		吉田	田中		浦部	阪本	
小 児 科《瀬川孝昭》		瀬川	瀬川	千葉	秋山	千葉	火曜日の日馬医師の診察は午前10時30分からです。 木曜日の本木医師の診察は午前10時30分からです。
		秋山	日馬	瀬川	本木	瀬川	
外 科《梶本徹也》		梶本	吉田	梶本	吉田	良元	
		大町	良元	大町	藤田	毛利	
		小山	藤田	毛利	小山	(交替制)	
整形外科《田邊登崇》		田邊	永井	(交替制)	永井	田邊	《初診は完全紹介状制です。水曜日は初診のみです。》 《水曜日の初診受付は、午前10時までです。》
		久富	篠原	(交替制)	篠原	久富	
脳神経外科《諸岡 暁》		野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	《水曜日は初診のみです。》 火曜日の諸岡医師、木曜日の野田医師は再診のみです。
形成外科《平川正彦》		平川		西村	平川	西村	《火曜日は休診日です。》
泌尿器科《後藤博一》		後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤	
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田	平井	鈴木	原	山崎	《婦人科初診は完全紹介状制です。》 ← 婦人科再診 ← 妊婦健診
		平井	原	山崎	窪田	鈴木	
		原	山崎	窪田	鈴木	平井	
眼 科《讓原大輔》		讓原	讓原	讓原	讓原	讓原	水曜日の讓原医師の診察は、偶数週です。
		藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	
耳鼻咽喉科《高柳博久》		須田	高柳	須田	高柳	(交替制)	金曜日は初診のみです。
皮 膚 科《津嶋友央》		須田	高柳	須田	高柳	(交替制)	水曜日の津嶋医師の診察は、奇数週です。 水曜日の青島医師の診察は、偶数週です。
		遠藤	(交替制)	(交替制)	遠藤		
放 射 線 科		(担当医)		(担当医)		(担当医)	← 治療外来 ← 診断外来
		大平		(交替制)	萬	成田	
		東條	東條	東條	東條	東條	
歯科口腔外科《勝山直彦》		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	片桐医師の診察は、火曜日は第2週と第4週、木曜日は第1週と第3週です。
		井出	井出	井出	井出	井出	
		勝田	勝田	勝田	勝田	勝田	

※都合により、内容が異なることがあります。

医師の人事異動について

病院総務課 内線2215

下記診療科において医師の異動がありました。これまで退任医師が主治医として担当させていただいた患者さまには、大変ご迷惑をおかけいたします。わからないことがありましたら、お問い合わせください。

診療科	異動日	就任・退任	医師名	カナ氏名
心臓血管外科	8月 1日	就 任	吉田 佳嗣	ヨシダ ヨシツグ
歯科口腔外科	8月 1日	就 任	黒川 正寛	クロカワ マサヒロ
脳神経外科	8月22日	退 任	尾崎 雅宏	オザキ マサヒロ
心臓血管外科	8月31日	退 任	井上 天宏	イノウエ タカヒロ
整形外科	9月30日	退 任	荒川雄一郎	アラカワ ユウイチロウ
形成外科	9月30日	退 任	牧野陽二郎	マキノ ヨウジロウ
整形外科	10月 1日	就 任	篠原 恵	シノハラ ケイ
形成外科	10月 1日	就 任	西村 礼司	ニシムラ レイジ
脳神経外科	10月 1日	就 任	柳澤 毅	ヤナギサワ タケシ



「咳エチケット」を守っていますか？



新型インフルエンザが大流行しています。新型インフルエンザ感染拡大防止のため咳エチケットを守りましょう。

咳エチケットとはインフルエンザにかかった人がほかの人にうつさないようにするエチケットです。

* 咳やくしゃみが出る時はマスクをしましょう。

マスクがない時はティッシュ・ハンカチなどで口と鼻をおおい、顔を他の人に向けず、できれば1m以上の間隔をあけましょう。

* 鼻汁・痰などを含んだティッシュは、すぐにふたつきのごみ箱に捨てましょう。

* 咳やくしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手はすぐに洗いましょう。

* 咳をしている人には、マスクの着用をお願いしましょう。マスクは不織布の素材が適しています。

これ以外にも「うがい・手洗いの励行」「人ごみを避ける」など日頃から感染防止に心がけましょう。38度以上の発熱があり、同時に鼻汁もしくは鼻づまり、のどの痛み、咳の症状があらわれたら、あらかじめ電話でご相談の上、すぐにお近くの医療機関にかかりましょう。

※発症48時間以内の「タミフル」「リレンザ」の服用は、インフルエンザの重症化を防ぐといわれています。

※インフルエンザに関する詳細は、中央病院ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/>

病院総務課
内線2215

各科紹介

腎臓内科

現在、内科には院長、副院長を含めて13名の医師が勤務しており、そのうち4名が腎臓内科に所属しています。

腎臓病はゆっくり進行する慢性腎臓病と急速に進行する急性腎障害のふたつに大別されます。このうち慢性腎臓病は症状に気付かないあいだに進行して、人工透析が必要になったり、心臓病や脳卒中の誘因になったりすることが知られています。しかも、日本人の1900万人以上が慢性腎臓病にあたりと報告され、国民の健康の脅威になっています。

当院では昭和52年3月に初めての人工透析が行われ、昭和60年4月から腎臓内科としての診療が始まりました。現在では開業の先生方、県内外の専門医などと連携しながら、慢性腎臓病と急性腎障害の両方の診療にあたっています。

これからも、内科全般の診療にあたりながら、同

時に腎臓内科としての専門性を高める努力を続けてゆきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

(笠井副院長は本年11月にグランシップで行われる第15回日本腹膜透析研究会総会・学術集会の大会長を務めることになっています。)



高校生が一日体験で来院

8月4日(火)、5日(水)の2日間にわたり、高校生38名が医師・歯科医師・薬剤師・看護師の1日体験で来院しました。

医師・歯科医師・薬剤師の1日体験には15名の参加がありました。笠井副院長より医療従事者としての心構えと当院の概要説明を受け、臨床現場や院内の施設を見学しました。

この1日体験入学は平成18年より行われており、今年で4年目となりました。昨年までは、静岡県立富士高校の生徒のみの参加でしたが、今年からは静岡県立富士東高校の生徒も加わっての実施となりました。



(当院の概要の説明を受けている様子)

また、看護師の1日体験には23名の参加がありました。こちらは、静岡県看護協会が主催で富士・富士宮市の高校に通う高校生を対象とし富士市立中央病院で行われました。

双方の1日体験に参加した学生達からは、「医師の治療、患者の看護の現場を見学し、多くの驚きや発見があった。」「医療従事者の仕事は大変だけど、将来の目標ができて勉強を頑張ろうと改めて思った。」「病院の仕事を知ることができ良い経験になった。」というような声を聞くことができました。

今回の参加者のうち何人かが、将来医療関係の大学や専門学校へ進学し、やがては当院のスタッフとして活躍していただくことを期待しています。



(CT画像の説明を受けている様子)



おしらせ



院内での携帯電話使用のお願い

●病院経営課 内線2221

当院では、医療機器への影響を考慮して、院内の携帯電話使用を制限させていただいております。院内には、「使用禁止区域」、「メール許可区域」、及び「通話可能区域」が設定されております。

使用禁止区域(循環器科外来、救急外来、7A病棟、集中治療室など)では携帯電話の持ち込み自粛及び電源のオフにご協力下さい。

メール許可区域(使用禁止区域以外)ではマナーモードでの通話以外の使用に制限させていただいております。

通話可能区域(1・2階の青いテープで表示された通話可能区域、7A病棟以外の各病棟デイルーム、個室など)では、他の方のご迷惑にかからないようマナーを守ってご使用下さい。院内にはポスター掲示などがありますので、ご確認下さい。



糖尿病キャンペーンについて

●栄養科 内線2146

今、糖尿病があぶない!

毎年11月14日は「世界糖尿病デー」です。最近メタボが話題となり、糖尿病の療養の大切さを忘れがちになっています。

全国で普及啓発のイベントが開催されます。気になる方は、富士市でも開催いたしますので、ふるってご参加ください。

★富士市での開催予定

日時 11月14日(土) 12:00~14:30

場所 イオン富士南ショッピングセンター

主催 富士市立中央病院



ペインクリニックの休止について

●手術室 内線2309

従来より、麻酔科外来において診療しておりましたペインクリニックは、継続が困難となり9月より休止致しました。市民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



総合相談センター ～こんな相談を受付しています～ 内線2046

- 医療福祉相談(健診含む)…介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内、などの相談に応じます。
 - 看護相談(がん相談含む) ●よろず相談…患者さまとご家族さまが抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
 - 医療安全相談…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい、などの相談に応じます。
- 受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:30 (医療福祉相談のみ内線2918)
※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手です。お気軽にお声をお掛け下さい。

その他の病院内の相談は…



- お薬相談
月～金 8:30～17:00 お薬渡し口右横相談室
お問い合わせ:薬剤科 内線2126
- 栄養相談 ※予約制です。
月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)
お問い合わせ:栄養科 内線2146
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明
月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)
お問い合わせ:臨床検査科 内線2267
- 糖尿病相談 生活指導・自己管理
第2火曜 13:00～15:00 看護面談室(1階)
お問い合わせ:内科外来 内線2285

各種教室のご紹介

患者さまとご家族を対象とした各種教室を開催しています。どなたでも無料で参加できますので、開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせのうえ、お気軽に参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

- 糖尿病教室 お問い合わせ:栄養科 内線2146
※現在休止中です。
- 腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 内線2146
日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00
- ファミリークラス
お問い合わせ:産婦人科外来 内線2337
日時:毎月3回 13:00～15:00

患者さまの権利に関する宣言

富士市立中央病院は、医療における中心は患者さまであり、医療行為が患者さま・家族さまと医療提供者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに患者さまの権利に関する宣言を致します。

1.尊厳が守られる権利

患者さまは、常にその人格を尊重される権利があります。

2.最善な医療を平等に受ける権利

患者さまは、安全で良質な医療を平等に受ける権利があります。

3.十分な説明を受ける権利

患者さまは、治療や検査の効果またはそれに伴う危険性、他の治療方法の有無などについて、患者さまが納得し理解できるまで、十分な説明を受ける権利があります。

4.自分が受けている医療について知る権利

患者さまは、当院で行われたご自身の治療に関する情報の提供を受ける権利があります。

5.個人の情報が守られる権利

患者さまは、医療従事者が患者さまについて知り得た個人情報を守らせる権利があります。

富士市立中央病院は、この宣言の主旨を十分に尊重し地域の医療と健康を守ることを宣言します。

富士市立中央病院

～平成21年度病院指針～

「電子カルテから始まるチーム医療“患者さんもチームの一員”」

〒417-8567 住所:静岡県富士市高島町50

電話:0545-52-1131 FAX:0545-51-7077

E-mail:byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

【アクセス】

富士ICより 車で10分

東海道本線富士駅より タクシーまたはバスで10分

東海道新幹線新富士駅より タクシーで10分

